

如是我聞 と 発問



仏の教を弟子たちが布教を始める。
如是我聞。私は釈迦の教えをこう理解した。
 釈迦はこうも言われる。「嘘も方便」。
 ことの本旨を伝えることの難しさを表現している言葉だと思う。
 なぜか近頃、急に日本語に目覚め、日本語の文法を「ひょっこりひょうたん島」の作者に学ぶ。
 私家版「日本語文法」井上久著
 この本の枕ことばにこうある。「誰かに、中学と高校での国文法の授業についてなにか短い感想を求められたら、＜困惑した、退屈した、恐ろしかった＞と答えれば、何かピタリと嵌る。
 まず困惑は、最初の時間に教師が「正しく日本語を書き、きれいな標準語を話すためにも、皆さん文法というものをしっかり身につけなければなりません」と語ったときに始まった。となると、母親から口移して教わった自分たちの言葉はどうなるのだろう。」
 同じ体験がこの私にもある。私は幼少のとき、保育園にも、幼稚園にもいかず、佐賀県のチベットと呼ばれる背振山脈からの安良川、宝満山からの宝満川、遠く阿蘇山からの筑後川が合流する、佐賀県鳥栖市が筑後川にほんの少し接する鳥栖市下野町に生まれた。小学校入学のとき、母に、いかにお前の名前は「じゅうろう」だから、「+（たす）」と「ろ」、十ろと書くんだと教えられて、旭小学校に入学した。通知表には劣る、やや劣るの印がずら～と6年間、並ぶ。そういうわけで、頗る漢字に弱い。いわゆる読めない。
 小学6年の時、担任の先生がお産で休み、代用教員の畑江先生（？）が見かねて、「十郎さん、よかね、字が読めないときは漢字辞典と国語辞典を引きなさい、こんな風に調べなさい。いかい あ・い・う・え・お・か・・・と順番にしらべなさい。解かるから。」私の最初の恩師である。
 田舎の旭中学校を卒業し、鳥栖高校に入学した。都会の鳥栖中学校出身の生徒たちがいわゆる標準語で先生にのたまう。「先生、質問があります。このことは何でしょう？」
 鳥栖高校では自転車の行き返り以外、半年間、私はなにも喋らなかつた。正確に言うと、標準語が喋れなかつた。
 いまでも、グーグル先生にお世話になりっぱなしである。ながくなつたが、私家版「日本語文法」に出会い、永年の日本語にたいする「もやもや感」を解決しようとしている。年齢78歳を迎え小学校に入学した気分である。
 如是我聞。語彙、単語、言葉、日本語を正しく操らねばならぬ。日本語のルーツと歴史もこの本にある。日本人の歴史と日本語の発展にあらためて感動した。この本の最終章の目次は、「コンピューターがねをあげた」である。昭和56年3月25日発行とある。もっと早く出会えば良かった。
 皆の衆、今月号の文章は皆さまにただしゅうお伝えできたかった。うーん、ちゃんぽんなんだ。
 いま、もう一つのお勉強は「発問」ということである。視点を変えた所(新たな視点)から生まれる「発問」から導かれる「解」がとても今から大事だとも思う。おもんがしまりそうだから、こゝらで読み切りといたします。さいなら。

四ヶ所十郎

こちら総務部便り

そ
う
む
ぶ
た
よ

Vol. 72

2026
皐月号

～2つのキャッシュ指標～

昨今、あらゆる業種で仕入単価の高騰や資材の納期遅延が深刻な経営課題となっています。

「モノが入ってこないから、売上を立てられない」

「値上がりを見越して、今のうちに多めに仕入れておきたい」

このような状況下において、会社の命綱となるのは間違いなく手元のキャッシュ（現金）です。

今回は、先の読めない時代において自社の防衛力と資金調達力を測る2つの指標についてご紹介します。

●手元流動性比率【計算式】(現金預金+すぐに換金できる資産) ÷ 月平均売上高

手元流動性比率とは、会社にあと何ヶ月分の現金があるかを示す指標です。一般的には月商の1.5～2ヶ月が安全圏の目安と言われていますが、物価高と資材不足の現在、資材確保のために多めに在庫を抱えたり、仕入単価が上がったりすることで以前と同じ量を仕入れるにしても、手元から出ていく現金が大きくなっており急な価格転嫁ができず利益率が圧迫されると手元資金の減るスピードは一段と加速します。

今の時代、従来の目安にプラスして+0.5～1ヶ月分の余裕を持たせることが想定外の事態への防衛力になるのでしょうか。

●債務償還年数【計算式】有利子負債 ÷ (営業利益+減価償却費)

債務償還年数とは、今のキャッシュを稼ぐ力で、借入金をあといく年で完済できるかを示す指標になります。

金融機関が追加融資の審査をする際、最も重要視する指標の一つであり、本業の稼ぐ力(営業利益)をベースとした場合、5年から7年が健全な目安とされています。

【貸借対照表】

【資産の部】	【負債の部】
(流動資産)	(流動負債)
現金・預金 〇〇〇,〇〇〇	買掛金他
有価証券←換金できる資産 〇〇〇,〇〇〇	短期借入金←有利子負債 〇〇〇,〇〇〇
売掛金他	(固定負債)
(固定資産)	長期借入金←有利子負債 〇〇〇,〇〇〇
建物他	【純資産の部】
(繰延資産)	(株主資本)
	資本金他

【損益計算書】

【売上高】 〇〇〇,〇〇〇 ÷ 12ヶ月 = 月平均売上高
【売上原価】 製造業等は減価償却費含む
売上総利益
【販売費及び一般管理費】
役員報酬他
減価償却費
営業利益
【営業外収益】
【営業外費用】
経常利益
【特別利益】
【特別損失】
税引前当期純利益
法人税等
当期純利益

2つの指標に関連性があるものには着色しています。



～前問～



五月病

今年のゴールデンウィーク、皆様はいかがお過ごしでしたでしょうか。

ご旅行などでアクティブに楽しまれた方も多いと思いますが、実は私、この連休中、ほとんど家の外に出ませんでした。ひたすらNetflixで気になっていたドラマやアニメを一気見する毎日。時間を気にせず、どっぷりと映像の世界に没入しておりました。

さて、連休明けといえば「五月病」の季節ですね。一步も外に出ず、体力を温存したのだから休み明けは絶対調！…と

言いたいところなのですが、現実はその甘くありませんでした。「あと1話だけ……」と夜更かしを繰り返した結果、見事に生活リズムが狂ってしまったのです。さらに、何日も家で座りっぱなしだったためか、かえって体が重く、頭もぼんやりしてしまい……。「もしかして、これが私なりの五月病？」と苦笑いする連休明けとなってしまいました。

休日をアクティブに過ごすのも疲れますが、極端なインドア生活も考えものですね。皆様の中にも、連休明けでなんとなくペースが掴めない、という方がいらっしゃるかもしれません。

そんな時は無理に急進せず、まずは普段の「生活リズム」を取り戻すところから、少しずつエンジンをかけていきたいですね。

富松

人はなぜ先延ばしするのか？

「よし、やるぞ」と椅子に座った瞬間、なぜか机の上のホコリが気になり始める。掃除を終えると、今度は急にタバコが吸いたくなる。戻ってきたら、なぜかスマホでMLBの大谷さんの記事を見ている。

今日は記事の締切日……気づけば1時間が消えていた。

この「謎の時間ワープ現象」、実は人類共通の特技である。心理学者たちはこれを先延ばし(プロcrastinেশion)と呼ぶが、もはや立派な文化と言ってもいい。

■先延ばしの黒幕は「脳の気分屋モード」

脳は、面倒なタスクを見るとこうつぶやく。「えっ、それ今やる？ もっと楽しいことあるよ？」タスクに向き合うときに生まれる不安・退屈・失敗への恐れ。脳はこれを「危険物」扱いし、SNSや動画といった「即効性の快楽」へ誘導する。つまり先延ばしとは、脳が勝手に発動する気分優先モードなのだ。

■先延ばしは悪ではなく、むしろ人間らしさの証

先延ばしをするたびに自己嫌悪に陥る人は多い。しかしある研究者は、慢性的な先延ばしの背景に自尊心の低下があると指摘する。つまり、責めれば責めるほど先延ばしは強くなる。

■では、どう付き合う？

先延ばしを完全に消すのは、もはや人類の夢。だが「手なずける」ことはできる。

タスクを極限まで小さくする例：レポートを書く → Wordを開く

「3分だけやる」作戦始めると案外続く

自分に優しくツッコミを入れる「また逃げたな、まあ人間だしな」くらいで

■最後に

先延ばしは、怠けではなく脳の自然な反応であり、時に人生を彩る「寄り道」でもある。大切なのは、寄り道から戻るための小さな一歩を用意しておくこと。

今日のあなたがもし先延ばししていたら——それはあなたが人間である証拠だ。



辻 直英

ネットワークセキュリティ



私たちの身の回りでは、これまで「紙」や「窓口」で行っていたことが、どんどんインターネット上の「データ」に置き換わっています。

たとえば、会社の経理やお金の管理は、パソコンに入れたソフトを使う時代から、インターネット上のサービス（クラウド会計）を使う時代へと変化しました。紙でやり取りしていた領収書や請求書も、今では電子データ（電子取引）のまま保存されるようになっていきます。また、銀行の窓口やATMに並んで行っていた振り込みは、「ネットバンキング」で済ませられるようになり、税金の支払いも、紙の納付書を持っていく代わりに、インターネット経由で直接口座から引き落とす「ダイレクト納付」が普及しています。

このように、インターネットを利用すれば、いつでもどこでも手続きができ、私たちの生活や仕事にとって欠かせない大変便利なものになりました。しかし、その「便利さ」の裏側には、見えない泥棒（悪意のある人）が大切な情報を盗もうとしている危険も潜んでいます。今回は、「ネットワークセキュリティ」の基本について詳しくご説明します。

1. ネットワークセキュリティとは？（家の防犯と同じです）

ネットワークセキュリティとは、会社のパソコンの中にある大切な情報（住所や名前、銀行、クレジットカード番号など）を、悪い人たちから守るためのすべての対策のことです。

難しく聞こえるかもしれませんが、実は「家の防犯対策」とまったく同じです。

・玄関に鍵をかける（不正アクセス対策）知らない人が勝手に家に入れないようにすると同じように、パソコンにも暗証番号（パスワード）など鍵をかけます。

・大切なものは金庫にしまう（データ保護）

通帳や印鑑を金庫に隠すように、大切なデータは泥棒に見つかっても簡単に読まれないように頑丈に保護します。

企業も個人も、この「鍵かけ」と「金庫」の仕組みをインターネット上で行っているのです。

2. セキュリティが目指す「3つの安心」

情報を守るためには、以下の「3つの状態」を常に保つことが重要だと言われています。

①盗まれない（機密性）誰にも見られたくない秘密の日記を、鍵付きの引き出しにしまうようなものです。許可された人しか見られないようにします。

②勝手に書き換えられない（完全性）大切な契約書の金額を、誰かに勝手に書き換えられたら大変です。データが常に「正しくて、改ざんされていない状態」であることを守ります。

③いつでも使える（可用性）いくら金庫が頑丈でも、鍵が錆びて開かなくなり、自分も使えなくなるとは意味がありません。「自分が使いたい時に、いつでも安全に使える」状態を保つことも大切です。

3. 対策を怠るとどうなる？（代表的な4つの危険）

では、もし家の鍵を開けっぱなしにしていたら、どんな泥棒に入られてしまうのでしょうか。インターネットの世界で待ち受ける、代表的な4つの危険をご紹介します。

①マルウェア感染（パソコンのウイルス・病気）マルウェアとは、パソコンにイタズラをする「悪いプログラム」のことです。たとえば「荷物のお届けです」という偽のメールを開いてしまうことで、気づかないうちにウイルスが家（パソコン）の中に入り込み、大切な情報を盗み出してしまう。

②不正アクセス・なりすまし（変装した泥棒）他人のIDやパスワードを盗み出し、その人のフリをしてサービスを使う手口です。家族に変装して家に入り込み、勝手に銀行のお金を引き出したり、あなたの名前でも知人に詐欺メールを送ったりする非常に怖い犯罪です。

③サービス停止を狙った攻撃（お店の前の嫌がらせ行列）お店（企業のウェブサイトなど）の前に、買い物をする気のない人を何千人も並ばせて、本当のお客さんがお店に入れないようにする嫌がらせです。これにより、会社のシステムがパンクして機能しなくなってしまいます。

④サプライチェーン攻撃（裏口からの侵入）セキュリティが厳重な大きなお屋敷（大企業）を正面から狙うのではなく、そのお屋敷に出入りしている「防犯の甘いお弁当屋さんや清掃業者（関連する小さな会社）」にまず忍び込み、そこを踏み台にして大きなお屋敷の裏口から侵入する手口です。もはや自分だけの問題ではなく、関わる人全員の対策が求められます。

来月の新聞でネットワークセキュリティ対策について紹介させていただきます。

フウ

AIと税理士と（パートII）

前号パートIより続きます。

今回も記事を抜粋しながら、感想を書いていきたいと思えます。

2027年は「土業大淘汰」の年になる？ それでも現役税理士が「AIのおかげで“本来の仕事”に戻れる」と語るワケ

齋藤 健二：金融・Fintech ジャーナリスト

AIがさまざまな局面に入り込んでくる世の中、税理士をはじめとした「土業」も例外ではない。

「AIの税務知識、もう私より上かもしれません」——。そう語る税理士がいる。セブンスensex税理士法人でディレクターを務める大野修平氏だ。

決算書も「やればできる」レベルに

——技術的には、AIによる申告はどこまで来ていますか。

freeeにMCP（AIとデータをつなげるための仕組み）サーバーをつないで、AIエージェントが決算書を仕上げる、というのはすでにやっている人がいます。実際に私もClaude in Chrome（アンソロピックのAI「Claude」がWebブラウザを直接操作できるツール）を使って、Googleドライブの中の領収書をマネーフォワードの経費精算アプリに自動で入力させてみました。一番苦労したのが、日付の入力です。マネーフォワードの日付欄は人間向けのUI（ユーザーインターフェイス）で、カレンダーがドロップダウンで出てくる。AIがスクリーンショットを撮って座標を推定して押しにいくんですが、隣の日付を選んでしまったりする。

ただ、これがなぜ起きるかという、人間のためにカレンダーUIにしているから、AIもそれに惑わされてしまっている。AIがYYYYMMDD形式で直接入力できることに気づけば、何の問題もない。

まだ、UIの問題等はあるものの、できるかできないかで言えばできてしまう。そして、それらも今後はどんどん解決されていき、より簡単になっていくのでしよう。

——実際に「freee-mcpで確定申告が簡単になった」という声も、今年の確定申告シーズンに広まりましたね。

作業時間が8時間から30分になったという報告もありましたし、「UIで操作するよりMCP経由のほうが体験がいい」という声も出てきています。税理士・会計士の側でも、月次決算のチェックをMCPで自動化し始めている人がいる。まだ一般的ではないですが、技術としてはすでにそこまで来ているのは事実です。

個人の確定申告はほぼAIができる段階にきています。個人ができるなら中小企業もできる、中小企業ができるならエンタープライズもできる。違いは扱うデータの量と複雑さだけで、モデルの性能が向上すれば技術的な壁は順次突破される。構造的には同じなんです。私は2027年にはホワイトカラーの仕事の大半が変わると思っていて、その見立ては今も変わっていません。

2027年かどうかは分かりませんが、AIの進化速度を考えると、2027年というのも十分にあり得る世界線で、こちらはいち早くAIを取り入れ、使いこなす側にならなくてはと決意しました。

「月1件こなせば十分」から「5件並行」へ

——申告書はUIの壁が残るとしても、すでに圧倒的に効いている業務はありますか。

デューデリジェンス（DD、適正評価手続き）です。M&Aの際に買収対象企業の財務状況や事業リスクを詳細調査する業務ですが、これが税務相談よりもよっぽど得意ですね。税務というのは日本という島国固有のローカルなルールですが、DDは全世界で行われている。むしろアメリカのほうが進んでいるくらいで、AIが学んできたデータ量が違います。実際、うちでは総勘定元帳を3年分丸々渡して全件チェックさせています。ボタンを押して2時間放っておくと、リスクが重要度別に整理されて上がってくる。それに対して質問して、追加資料を渡して、またクリックする。最後はパワーポイントのレポートまで出てくるようにしています。

普通、財務DDは公認会計士や税理士でも月1件こなせば十分というくらい大変な業務ですが、今うちでは30代のスタッフが5件並行して担当しています。

AIが学んできたデータ量というのは、指数関数的にAIの能力に直結しており、その得意分野であれば、すでに人間の数倍～数十倍の能力であるということ。税務の分野においてもいずれば。

——知識では勝てない、申告書もやがてAIに、となると、税理士は何をすべきなのでしょう。

パートIIIへ続く。



四ヶ所 直樹

～生涯スポーツ～

lifelong sports



先日、男子テニスの錦織圭選手が今シーズン限りでの現役引退を発表しました。

度重なる怪我との闘いの中、日本歴代最高位の世界ランキング4位や全米オープン準優勝などの輝かしい功績を残し、第一線を退く意向を示しました。

現在、大学2年になる私の息子も小学校3年の時に錦織選手の影響で、テニスを始めました。久留米市が主催する小学生のスポーツ教室が毎週土曜日にあって、テニス、バスケ、サッカー、陸上などの種目から自分がやりたいスポーツを選びます。

当時、サッカーやバスケ、陸上には20人から30人ぐらいでしたが、テニスとはいうと息子と同じように錦織選手に憧れて始める子たちで100人ぐらいいました。子供同様、大人もですが錦織選手のおかげでテニス人口が増えたと言われていました。錦織選手にあこがれて小学校3年からテニスを始めた息子は、中学、高校そして今もテニスを続けています。

かくいう私も、歳と共に体力も衰えていくので何か運動をしなければ・・・と思い2年ほど前から、久留米市のナイターテニス教室に行っています。

週に1回ですが、年齢も20代から60代まで幅広く、日頃のストレス解消で和気あいあい楽しんでいます。年に1回、久留米市テニス協会が主催するテニスの日という交流会があり、いろんな人とダブルスを組んで試合をします。

過去の総務部便りで書きましたが、去年もまた参加しました。参加メンバーをみたら、最高年齢は86歳のおじいさん。2年前は84歳で参加されましたが、2年後の今回もまた参加です。すごい！！

そして私とペアを組んだのは、今回は76歳のおばあさんで、そのおばあさんの上手なこと。私が後ろで、おばあさんが前というフォーメーションで試合をしたのですが、ほとんど前でボールを返してくれるため後ろにはあまり飛んできません。試合中、私がボールに触ったのは5、6回でした。おばあさんのおかげで私たちペアは勝ちましたが、試合が終わった後に「ありがとうございました。助かりました。すごく上手ですね〜。」と言って話を聞くと、会社を定年退職してからは、時間に余裕もあり、ほとんど毎日、朝の9時からお昼まで仲間とテニスをしてるそうです。テニス仲間はみんな70歳以上で86歳のおじいさんもメンバーとのこと。

私に「あなたは若いから、まだまだ上手になるわよ。」と励ましの言葉をいただきました。「いや若くはないんですけど（苦笑）伸びしろがあるってこと！？」心身ともに健康でいるために、長く続けられるスポーツはいいですよ。

私も退職したら、おばあさんのテニス仲間に入れてもらう約束をしました。

退職後の楽しみが増えました。



～北原～

【デジタル版だと文字の大きさも自由自在！】
こちら総務部便りデジタル版を配信ご希望の方は
コチラの登録フォームからどうぞ！>>>>>

